

総務

市政の運営方針や、財務、防災、総合事務所に関することなど、広範な議案等を審査しています。

注目!

エフエム上越の 経営の在り方に関する 議会の総意への対応は？

■令和3年度一般会計予算

エフエム上越の事業譲渡について、2月18日に「エフエム上越の経営の在り方に関する議会の総意」を市長へ提出し、以下のとおり対応状況の報告がありました。

エフエム上越の事業譲渡

エフエム上越(株)の単独での経営健全化が困難な見通しのため、令和3年4月に上越ケーブルビジョン(株)へ事業を譲渡し、会社清算に向けた手続を進めます。

■エフエム上越の経営の在り方に関する議会の総意

- 1 上越ケーブルビジョン(株)と上越市の覚書に以下の2点を盛り込むこと。
 - (1) エフエム上越(株)が担ってきた「地域に密着したコミュニティ放送として上越市民に必要な情報を伝える」という目的を、上越ケーブルビジョン(株)が確実に継承すること。
 - (2) 上越市が上記(1)の目的が達せられないと判断した場合には、協議の場を設けること。
- 2 周波数を統合し、上越市と妙高市に同一の放送を行うこととなった場合、上越市民への情報の質と量を担保すること。
- 3 この度の事業譲渡及び会社清算に際し、出資金の放棄、また新たな補助金の支出がある場合、説明を尽くすこと。
- 4 エフエム上越(株)がすべての株主に対し、事業譲渡に至った経緯等の説明責任を果たすこと。

■行政側の対応状況

- 1 上越ケーブルビジョン(株)と上越市の覚書は、鋭意協議を進めている。
- 2 具体的な検討は始まっていないが、周波数の統合が実施される場合は真に必要な情報発信の量を精査していきたいと考えている。
- 3 市及びその他の株主は、2月19日の臨時株主総会で会社解散の決議が承認されたことで出資金を放棄した。補助金の支出は、円滑な事業承継を図るために市が負担することが適当と考えている。
- 4 臨時株主総会の前に意思の確認ができていない株主に対し連絡を取り、対応した。



総意の提出に当たり、4回の委員間討議を行いました。

委員間討議の詳細は、2月4・9・12・15日に開催した総務常任委員協議会をご覧ください。



■令和3年度一般会計予算

ハザードマップ活用研修 地域での共有は？

問／ハザードマップ活用研修の対象者は町内会長や防災士となつているが、研修後はどのように地域住民に伝えていくのか。

答／研修受講者には、防災訓練や総会など地域の集会の場でハザードマップの見方について説明し、地域でお話しいただくようお願いしている。令和2年度はコロナ禍で防災訓練を中止した地域が多い中、210の組織でハザードマップの話を取り入れた活動を行っている。

